

# 関西圏域の展望研究 報告書（概要）

## 1 関西の目指すべき目標

○国土の双眼構造の一翼を担う世界に開かれた関西 ○魅力ある地域の中で人が活躍する関西

## 2 関西の現状・将来推計及び強み

### 関西の強み

①都市と農山漁村との近接、②世界屈指の科学技術基盤や価値ある歴史・文化遺産など、多種多様な地域資源、③阪神・淡路大震災の経験を経た共助や自主独立の高い意識 等

## 3 関西が解決すべき課題

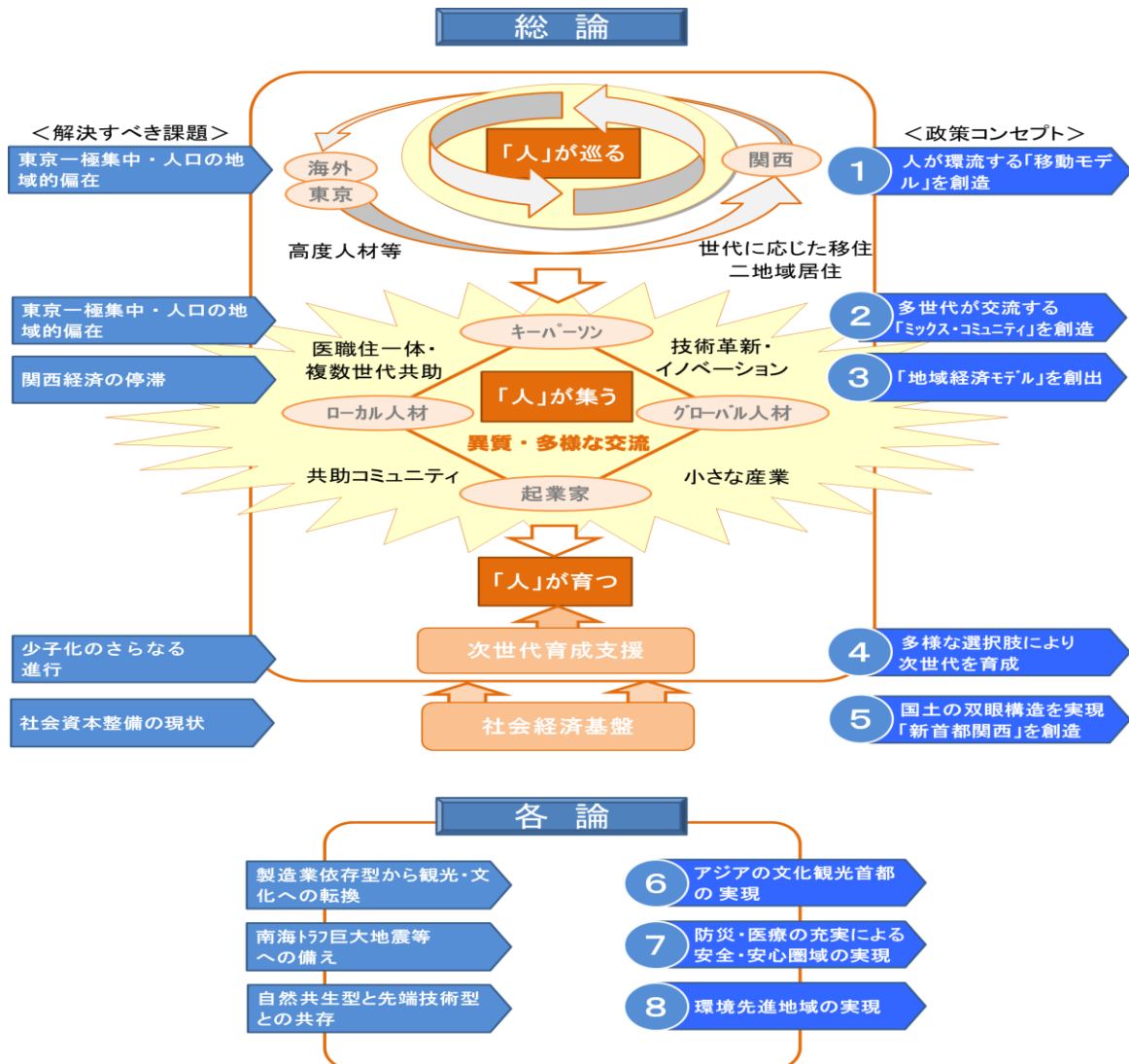
- (1) 東京一極集中の進行、人口の地域的偏在
- (2) 少子化のさらなる進行
- (3) 国土の双眼構造を阻む社会資本整備の現状
- (4) 関西経済の停滞
- (5) 製造業依存型から観光・文化圏域への転換
- (6) 南海トラフ巨大地震、首都直下地震等への備え
- (7) 自然共生型社会と先端技術型社会の共存

## 4 政策コンセプト

※本報告書では、狭域：府県域内の取組、広域：府県を跨る取組、提案：国等への提案とする

### 政策コンセプトを貫く理念

「循環と持続」をキーワードに「自立した地域が多様性の中で共生し、内外と交流する関西」の理念のもと、人が巡る、人が集う、人が育つことを基本に、「[人]」に焦点を当てた政策・投資を展開



## ① 人が環流する「移動モデル」を創造

### 人の環流を創造

- 若者、高齢者の多様な志向を捉え、世代に応じた移住や二地域居住等、「居住の流動性」を高め、首都圏から関西圏への人の流れを創出。国内外の地域間を人が循環する「人の環流」を創造。  
＜狭域＞①交流促進窓口の確立、②地域間を低コストで移動するしくみの構築、多世代への多様な移住促進策の展開、③家庭や職場以外で人が集まるサードプレイスの創設等を実施。
- ＜広域＞①権利・義務関係の後押しなど質の保証、図面保管など、中古住宅の流通活性化方策の検討、②首都圏からの人材を受入れる交流コーディネート・マッチング機関を設置。③二地域居住を確立・定着させる新たな制度（税優遇等）の創設を検討

### 企業の地方分散

- 関西の主要大学が連携した優秀な人材を吸引・輩出、優秀な人材確保やコスト削減策等の官民連携での実施などで関西の魅力を高める。官民連携によるICT基盤の構築が重要。
- ＜提案＞①東京以外の法人税率軽減など制度提案、②税制を優遇するエリア限定特区提案。

## ② 多世代が交流する「ミックス・コミュニティ」を創造

### 多世代が交流する「ミックス・コミュニティ」を創造

- 安定した人口構成を目標に「世帯ごと丸ごと移住」を促進。都市と農村の近接性、阪神・淡路大震災の経験、自主自立の精神の特性を踏まえ、健康で支え合い、いきいきと活動する「医職住一体」及び「複数世代共助」に基づく「多世代が交流する自立したミックス・コミュニティ」を創造。
- 関西の各地域は、全国一律のコンパクト化に反対し、魅力ある地域同士をネットワークでつなぎ、人が交流する「創造都市」「創造農村」を形成。
- ＜狭域＞①コミュニティを自主的に運営し、移住支援、地域内交通、安心・安全、子育て支援、防災・環境運動など多彩な取組を担うワンストップ主体（できるだけ法的根拠に基づく小規模多機能自治組織、NPO法人、株式会社、新法人等）を確立。②府県市による総合支援
- ＜広域＞①事例をもとに地域創生モデルの提供、②人材バンクの構築・派遣制度等を検討。
- ＜提案＞①府県市に対する地方財源の強化、②関西版総合戦略に基づく交付金制度の創設

### キーパーソンの確立・継承と人材育成による地域創生

- 先進的な取組を地域づくりの担い手に提供。民間が行う人材育成手法を連携・拡大することや自治体職員が地域に入り、キーパーソンを発掘・確立し、つなぐ役割を担うことが重要。
- ＜狭域＞①大学と地域の連携、②高校生への地域課題解決学習プログラムの導入と小中学校でのモデルプロジェクトの検討。③府県市による総合支援（特に研修等強化による人的支援）
- ＜広域＞①関西全域の地域づくりの担い手が集う場（シンポジウム、ワールドカフェ等）の創設、②関西圏域を展望する研究会の常設など、人材のネットワーク化

## ③ オンリーワンの技術で世界に羽ばたく「地域経済モデル」を創出

### グローバル経済とローカル経済を先導

#### （グローバル経済）

- 健康・医療産業等の産業クラスターを形成。関西の主要大学と連携した、最先端の技術開発プロジェクトの仕掛けを検討。環境・エネルギー産業、ICT産業でも、こうした取組を推進。
- 関西を牽引してきた鉄鋼、造船、電機・機械といった基幹産業の新展開は、①ICT、②機械産業では、医療機器やロボットというように、他分野・異業種との連携・交流・融合が鍵を握る。
- ＜広域＞①海外の高度人材への就労規制を緩和する「分野横断特区」や医療分野の規制を緩和する「分野限定特区」など、地方分権の趣旨により、申請によらないスピード感のある「スーパー経済特区・関西」を創設、②世界的な高度人材用「交通費・情報通信費無料パス」、「次世代医療ロボット」などのプロジェクトの支援の仕組みを検討。

#### （ローカル経済）

- 多様なソーシャルビジネスを関西全体に広げ、地域内経済循環を実現。
- ＜狭域＞①多様な取組を担うワンストップ主体を核にソーシャルビジネスを展開
- ＜広域＞①行政に頼らない持続可能な地域経営、②地域内経済循環を支える金融の仕組みの検討

## ローカルで足場を固め、グローバルで羽ばたく

(小さい産業から創造産業へ)

- **地域経済で大事なものは小さな産業の集積**。移住者の小さな産業の起業から地域内循環の取組が芽生え、技術革新、ブランド化、ICT活用などで、**イノベーションを起こすことによりグローバルな展開も可能**。都市部の空き工場など既存資産を起業者に継承させることで、ICT等を活用した多様な創造産業を生み出す拠点となる。

<狭域>①多様な取組を担うワンストップ主体を核に移住者が起業する多様な小さい産業を支援  
<広域>①小さい産業のパターン分類・整理・分析(失敗事例を含む)、②世界のトレンド情報のデータベース化・提供等を担うシンクタンク機能を有するセンターの構築を検討

(農林水産業)

- ブランド化により**グローバルな展開も期待できる農林水産業**は、最も力を入れるべきもの。
- 基本となる「農業政策」では、新規就農や技術開発・大規模化による経営安定、食に焦点をあてた「食料政策」では、**6次産業化やブランド化による海外展開**、人の環流を促進する「農村政策」では、収入増のための観光絡みのレストランや宿泊施設や旅行者向け農家民宿や体験農業の実施など着地型観光の受け皿となることが重要。

<狭域>①IT化、異業種連携等による技術開発・製品開発、②6次産業化、高付加価値化、③ブランド化、海外展開、④就農促進、⑤農産物のアンテナショップの設置・運営

<広域>①広域的な農林水産施策の充実、②**農産物等の科学的知見に基づく関西独自の表示制度**(安全性、産地特定、栄養成分の総合評価、食味の指標化等)とブランド化について検討  
③農業政策、食糧政策、農村政策を効果的に推進していくための**各府県市共通の課題について、メニュー化し、解決策を検討**

<提案>①Wi-Fiなどを活用した水田管理システムの開発と設置に対する補助金制度を提案

## ④ 多様な選択肢により次世代育成を支援

### ダイバーシティやワークライフバランスなどに配慮した子育て支援

- **生き方の多様な選択肢を用意**(①ダイバーシティによる働き方、②企業子宝率の提示や頑張る企業への顕彰等、取組の「見える化」を推進)により結婚や子育てへの意識を醸成。

- コミュニティの再構築と**幼少期からのライフステージごとの総合支援**を推進。

<狭域>①コミュニティの大切さ、結婚や子育てへの意識の醸成について、小中高校、大学教育で数多く実施、②**第3子出産祝い金、保育料無料化など思い切ったインセンティブ**の導入検討。

<広域>①企業へ先進的な取組等を提供、②頑張る企業の顕彰など、取組の「見える化」を検討。

### 教育基盤の充実

- 世界で活躍する高度人材と地域活性化に取り組む人材、双方とも育成していくことが基本。

<広域>①主要大学間における単位互換制度の創設、共同カリキュラムの開発、集中講座の開催、学生・教員の流動化など、**関西の主要大学をカンパニー制度による連携**を検討。②新たに**世界各国から専門性を公共部門で活かせる人材を集め、育てる大学院大学**構想等の検討。

## ⑤ 国土の双眼構造を実現し、世界と交流する「新首都関西」を創造

### 政治・行政・経済・文化などの代替機能を集積し、平時分散を実現

- **国家的課題の双眼構造への転換**。関西で首都機能のバックアップと平時からの分散を実現。

- 「国際再生可能エネルギー機関」などの**国際機関の関西への誘致**、新たな大学院大学構想、語学教育基盤の充実等、国際性を高める取組を進め、**関西を世界的な学術文化の一大拠点**とし、世界と交流する「新首都関西」の創造を具体化。

<広域>①国際機関の関西への誘致を検討、②小中高大学と外国語教育を行う関西独自の学生指導要領の創設、③海外の高度人材の家族の教育基盤を充実させる制度創設を検討。

<提案>①文化庁②観光庁③中小企業庁などの**政府関係機関等、関西に分散させることを提案**。

### 徹底したインフラ整備

- 東京は、東京中心に4本の新幹線が整備。関西は通過点に過ぎず、整備新幹線において圧倒的な格差。**北陸新幹線の大阪までの早期延伸、山陰新幹線・四国新幹線の整備計画格上げの実現**は、関西として最優先であらゆる行動を起こすべき。

<広域>①**整備新幹線の実現、リニア中央新幹線東京・大阪全線同時開業に向け行動を展開**。②関西の広域交通網のグランドデザインを描き、これに基づき要請・連携等。

## ⑥ 「アジアの文化観光首都」の実現

- 関西の魅力ある拠点をネットワークで結び「国際観光・文化圏関西」を創出。
  - 東京オリンピック・パラリンピックに向けた**文化プログラムを関西から先導的かつ積極的に実施**することも重要。財源と権限を持って、主体的に文化プログラムを推進する組織を設置し、取り組むことが必要で、**リオ～東京五輪の4年間、アーティストを日本に来てもらう取組が重要**。
  - 関西に残された多くの伝統工芸の継承・発展のモデルを示すことが重要。将来的には、各地域が地域資源を磨き、**創造都市、創造農村がネットワークで結ばれた圏域**を創造。**創造都市ネットワーク日本（CCNJ）などを最大限活用することが重要**
- <広域>①外国人旅行者受入環境の充実（医療通訳、多言語表記、消費税免税等）、②**広域文化・観光施策の総合的な事業実施を担う官民連携組織を設置**し、国際的な観光・文化産業が巨大な市場となりつつあるため、**受入施設のキャパなど、多様な課題や対応を検討**、③各地域のネットワーク化と交流事業のマッチング、④京都国際マンガミュージアムなど特徴的なミュージアムを結ぶ拠点構想、⑤関西全体をミュージアムに見立てる構想を検討。

## ⑦ 防災・医療の充実による安全・安心圏域の実現

### 「防災首都」の実現

- **南海トラフ巨大地震や首都直下地震は、30年以内の発生確率が70%**とされており、**対策先行型、縮災のもと**、これらの自然災害の発生を想定した災害対応を検討することは不可欠。
- <狭域>①共助コミュニティの構築と中山間地域での自給自足の基盤づくりを関西全域で展開。
- <広域>①南海トラフ巨大地震等を想定し、**地下街・地下鉄対策を含めた復旧・復興のシナリオ化**、②エネルギー確保の多重化の検討など、日本海側と太平洋側港湾の相互補完や機能分担など災害時におけるリダンダンシーを確保。
- <提案>阪神・淡路大震災等の蓄積を踏まえ、専門機関として**「防災庁(仮称)」の創設**を提案。

### 「医療首都関西」を目指した取組強化

- 医師数など医療に関する指標は圧倒的に西高東低というデータがあり、特に四国を含めた関西圏は医療先進地域。また、**ドクターヘリの共同運航で実績を積み、再生医療など健康・医療分野での最先端地域であることから、「医療首都関西」を目指している**。
- <広域>①**医師の指導のもとでの保健師・看護師の医療行為の拡大等について検討**。
- <提案>①保健師・看護師の医療行為の拡大に向けた規制緩和を提案。②ICTを活用した高齢者が安心して住める環境づくりへの支援等、超高齢社会への対応に資する制度充実等を提案

## ⑧ 環境先進地域の実現（持続可能な社会の実現）

- 自然共生型社会づくりを推進する多様な環境運動を広げ、高めることや、**流域を単位とした広域的な取組（統合的流域管理、ベストプラクティス等）が重要**。
  - 東近江市の「菜の花プロジェクト」や、**売れない間伐材を買い取って、製紙工場で紙にして、森を元気にする一般社団法人kikito**などの資源循環型の取組を関西全体に広げることが重要。
  - ため池を活用した太陽光発電やバイオマスや用水路を活用した小水力発電など、再生可能エネルギーの地産地消化によって、地域内での循環を高めるとともに、地域での産業の創出にも貢献。
  - **水素やメタンハイドレードなど、新たな可能性を有するエネルギーの普及促進も重要**。
  - 地域内での収支のプラスマイナスゼロを目指すことが重要。**生態系サービスの評価指標を用いた資源循環型、水と食、エネルギー自給自足型の持続可能な社会**を追及していくことも重要。
- <広域>①滋賀県の地先の安全度を関西に広げ、ハード政策である河川整備、ソフト政策である土地利用計画など氾濫原管理、避難計画など生活者自身の意識的努力とも言える政策を統合的に展開。②生態系サービスの評価指標を用いた**資源循環型、水と食、エネルギー自給自足型の地域モデルを検討**。③新たな可能性を有するエネルギーの事業化調査・研究の実施について検討、水素社会には、エネルギー収支、経済収支のデータを開示することが重要

### 政策コンセプトの実現

関西広域連合が、関西を双眼構造の一翼を担う圏域とする取組を推進し、地方分権を先導すること。そして、人材ネットワークが継続していくことを期待。